

【タイトル】

在南アフリカ大使館からの注意喚起（安全対策の徹底）

【本文】

最近、犯罪が頻繁に発生しており、在留邦人に対する被害も確認されています。日頃から安全対策を徹底し、十分注意してください。

南アフリカにお住まいの皆様及び旅行者の皆様へ

在南アフリカ共和国日本国大使館

最近、休暇シーズンに向けて南アフリカ全土で犯罪が頻発に発生しており、在留邦人を被害者とする事案も発生しています。10月18日付、注意喚起メールを当館から発出しておりますが、最近発生した在留邦人に対する被害例、カージャックのホットスポット等を以下のとおり共有しますので、内容をご確認いただき、安全対策を徹底いただけますよう、お願いいたします。また、この時期は飲酒運転が原因による交通事故も多数発生していますので、運転をする際には安全運転を心掛け、事故に巻き込まれることのように、ご注意ください。

万一、事件・事故等に巻き込まれた場合は、在南アフリカ日本国大使館に連絡してください。

1 在留邦人被害例（スマッシュアンドグラブ）

（1）概要

11月20日（日）18時頃、ヨハネスブルグ高速道路M1からサントン中心部に向かうため、グレイストンドライブ出口にて信号待ちをしていたところ、黒人男性が近付き、突然助手席の窓ガラスを割られて、助手席に置いてあったバックを強奪された。

（2）対策

ア 交差点は停車することなく通過できるように速度調整を心掛ける。また、停車する場合には、すぐにその場から離脱できるように、前者とのスペースを少なくとも1台分確保する。

イ 荷物は外から見える位置に置かずに、必ずトランク内に保管する。

2 カージャックのホットスポット

2015/16年の年間犯罪統計によれば、全州でカージャック被害が急激に増加（前年比14.3%増）しており、特にハウテン州では最も高い割合で発生し

ています。下記HPにカージャックのホットスポットが掲載されていますので、同ホットスポットを通過する場合には、特にご注意ください。

http://www.wheels24.co.za/Road_Trip/News/hijacking-hotspots-in-sa-joburg-pretoria-cape-town-durban-20161122

3 参考情報

(1) 10月18日付の注意喚起

<http://www.za.emb-japan.go.jp/files/000196899.pdf>

(2) スマッシュアンドグラブ対策

<http://www.za.emb-japan.go.jp/files/000134817.pdf>

(3) 銃乱射事件及び爆弾テロ事件に関する注意喚起

<http://www.za.emb-japan.go.jp/files/000191614.pdf>

4 連絡先

Tel : +27 12 452 1500 代表 : 警備、領事